

Intelligent Hub 設定について (iOS 編)

2019/02/02

本ドキュメントは、管理コンソールにおける iOS 用 Intelligent Hub の基本設定について、各設定項目の内容を記載しております。

当設定項目では、iOS 用 Intelligent Hub における GPS データ収集機能などの設定を行いません。

※ バージョン 9.4 より、コンソールの名称が "AirWatch Console" から "Workspace ONE UEM Console" に変更されました。

目次

1	設定場所.....	2
2	設定項目.....	2
2.1	全般タブ.....	2
2.2	サブグループの許可.....	4
3	MDM サンプルスケジュールについて.....	5

1 設定場所

[デバイス] > [デバイスと設定]をクリックし、更に（[デバイスとユーザー] >）[Apple] > [Apple iOS] > [Intelligent Hub 設定]をクリックします。

設定を変更する場合は、[現在の設定]を[オーバーライド]にします。



<補足>

- 継承** : 上位階層（組織グループ）の設定をそのまま継承します。
 ※最上位階層（ルート組織グループ）は、システムの初期設定値が反映されます。
- オーバーライド** : 上位階層の設定を反映せず、指定階層にて独自の設定を行ないます。

2 設定項目

2.1 全般タブ



①全般

[Intelligent Hub の加入解除オプションを無効化]

チェック有無により、Intelligent Hub のステータス画面（[マイデバイス] > [ステータス] > [デバイス加入済み]）のデバイス加入に関する操作が以下ようになります。

非チェック（オプションを有効化）時



チェック（オプションを無効化）時



[バックグラウンドアプリの更新]

バックグラウンドで稼動しているエージェントのタスク更新有無を設定します。

②エリア

[位置情報データを収集]

GPS データ収集機能の有無を設定します。

この機能を利用する場合は、デバイス側の位置情報サービス（[設定] > [プライバシー] > [位置情報サービス]）を有効にして、Intelligent Hub に対し許可する必要があります。



[iBeacon エリアを検出する]

iBeacon ブロードキャストの検知の有無を設定します。

③テレコム

[セルラーデータ使用量情報を収集]

モバイルデータ通信を行った際の通信量を収集の有無を設定します。

④セルフサービス

[セルフサービス有効化]

Intelligent Hub でデバイスのコンプライアンス状態の確認可否を設定します。

チェック（有効化）時



非チェック（無効化）時



⑤SDK プロファイル

[SDK プロファイル(レガシー)]

デフォルトの設定[なし]を推奨しています。

[SDK プロファイル V2]

デフォルトの設定[iOS Default Settings@Global]を推奨しています。

2.2 サブグループの許可

下位グループ(サブグループ)に対する設定継承を指定します。

サブグループの権限* 継承のみ オーバーライドのみ 継承またはオーバーライド

選択項目	説明
継承のみ	編集した設定内容を下位グループに引き継ぎます。 下位グループは設定内容が引き継がれますが、編集は出来ません。
オーバーライドのみ	編集した設定内容を下位グループに引き継ぎません。 下位グループには初期設定値が適用され、独自に設定を行います。
継承またはオーバーライド	編集した設定内容を下位グループに引継ぎ、設定の編集を許可します。 下位グループは設定内容が引き継がれ、編集も可能となります。

3 MDM サンプルスケジュールについて

Intelligent Hub が取得したデータを受信する間隔を設定可能です。

[デバイス] > [デバイス設定]をクリックし、更に([デバイスとユーザー] >) [Apple] >[MDM サンプルスケジュール]をクリックします。

デバイスとユーザー > Apple

MDM サンプルスケジュール ?

現在の設定 継承 オーバーライド

デバイス情報のサンプル	1	時間	i
アプリケーションリストサンプル	12	時間	i
証明書リストサンプル	12	時間	i
プロファイルリストサンプル	12	時間	i
プロビジョニング用プロファイルリストサンプル	12	時間	i
制限リストのサンプル	12	時間	i
セキュリティ情報サンプル	12	時間	i
管理アプリリストサンプル	12	時間	i
管理メディアリストのサンプル	12	時間	i
MDM Agent サンプル	12	時間	i

i AirWatchは非順守状態デバイスに対しより頻繁にクエリを行うことができます。これによってユーザーがデバイスを順守状態に戻す処理を行ってからAirWatchがその処理を認識するまでの遅れを減少させることができます。貴社環境内に多くの非順守デバイスが存在する場合、この値を小さくすることで、貴社システムにマイナスの影響が出る可能性がありますのでご注意ください。

非順守状態デバイスサンプル	2	時間	i
---------------	---	----	--

※本設定項目は、管理コンソールが各デバイスに対してサンプルデータ(デバイス情報)の送信要求(クエリ)を実施する間隔を設定するものです。

デバイスが自動的にサンプルデータを送信する間隔を定めるものではありません。

<設定項目>

項目名	説明	初期設定
デバイス情報のサンプル	デバイス名やの基本情報を取得します。	2 時間
アプリケーションリストサンプル	デバイスにインストールされているアプリケーションの一覧を取得します。	12 時間
証明書リストサンプル	デバイスにインストールされている証明書の一覧を取得します。 (※AirWatch MDM 経由で導入した証明書のみ)	12 時間
プロファイルリストサンプル	デバイスにインストールされている構成プロファイルの一覧を取得します。 (※AirWatch MDM 経由で導入したプロファイルのみ)	12 時間
プロビジョニング用プロファイルリストサンプル	デバイスにインストールされているプロビジョニング用プロファイルの一覧を取得します。 ただし、AirWatch MDM 経由でインストールした内部アプリケーション（エンタープライズアプリケーション）がデバイスにインストールされていない場合は、一覧は取得できません。	12 時間
制限リストのサンプル	デバイスに設定されている機能制限の一覧を取得します。	12 時間
セキュリティ情報サンプル	デバイスのセキュリティ情報を取得します。	12 時間
管理アプリリストサンプル	AirWatch MDM 経由でデバイスにインストールされているアプリケーションの一覧を取得します。	12 時間
MDM Agent サンプル	サイレント APNs 通知をデバイスに送信し、侵害検知情報、データ使用量、GPS 位置情報を収集します。 (※エージェント設定にて、該当項目が有効の場合)	12 時間
非順守状態デバイスサンプル	非順守状態のデバイスへのクエリ間隔を設定します。 クエリ実施において、非順守となっているポリシーに必要なサンプルデータのみ対象となります。 通常設定より頻繁に対象データをクエリする事で、デバイス側で順守状態に戻す処理を実施してから、MDM サーバー側で対象デバイスの認識が順守状態に戻るまでの待ち時間を短縮することが出来ます。	2 時間

以上が、Intelligent Hub 設定（iOS 編）についてのご案内となります。